富士覚醒

石黒耀
Akira Ishiguro

講談社文庫

講談社文庫

常州大学図書館
藏書

富士覚醒

石黒 耀

講談社

|著者| 石黒 耀　1954年、広島県生まれ。医師、小説家。京阪神に育ち、宮崎医科大学（現在の宮崎大学医学部）に進む。2002年、霧島火山帯の〝破局噴火〟をシミュレートしたクライシスノベル『死都日本』で第26回メフィスト賞を受賞しデビュー。日本地質学会表彰、宮沢賢治賞奨励賞も受賞。その後、東海・東南海地震をテーマにした『震災列島』を発表。本作は、第３弾となる。

富士覚醒（ふじかくせい）
石黒 耀（いしぐろ あきら）
© Akira Ishiguro 2011
2011年５月13日第１刷発行
2011年６月10日第２刷発行

発行者――鈴木　哲
発行所――株式会社　講談社
東京都文京区音羽2-12-21　〒112-8001
電話　出版部（03）5395-3510
　　販売部（03）5395-5817
　　業務部（03）5395-3615
Printed in Japan

講談社文庫
定価はカバーに
表示してあります

デザイン―菊地信義
本文データ制作―講談社プリプレス管理部
印刷―――豊国印刷株式会社
製本―――加藤製本株式会社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容についてのお問い合わせは文庫出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-06-276961-7

目次

第一章　覚醒　11
第二章　徐福伝説　37
第三章　カムイ・フチ　66
第四章　富士神の地　81
第五章　接近遭遇　118
第六章　神の名の下の不平等　151
第七章　暗転　227

第八章　神の御許へ　263
第九章　瑞光　276
第十章　噴火神降臨　305
第十一章　夜は火の柱　358
第十二章　首都震撼　403
第十三章　二霊神復活　449
第十四章　昼は雲の柱　505
エピローグ　589
解説／小山真人（静岡大学防災総合センター教授）　594
著者あとがき　604

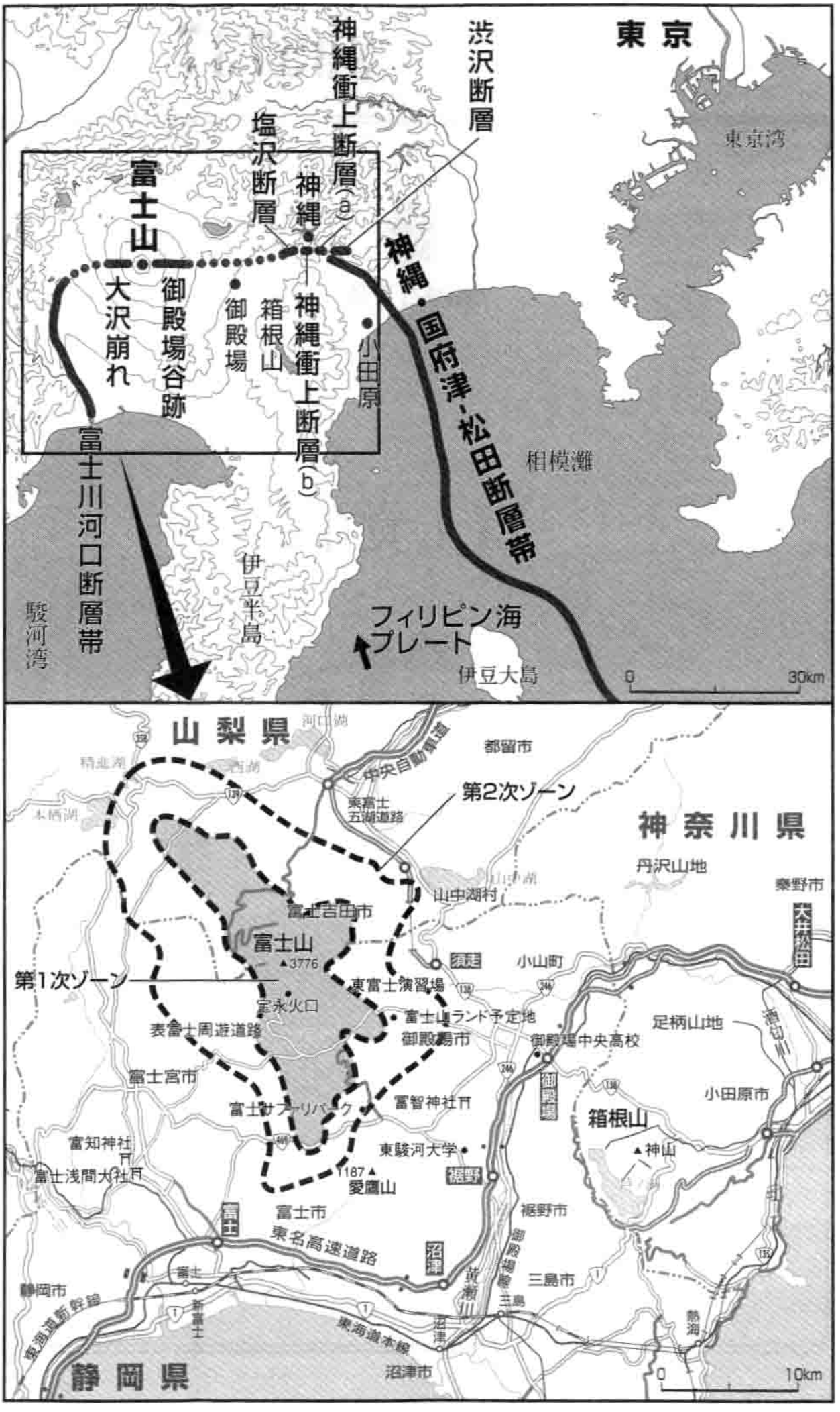
试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com

講談社文庫

富士覚醒

石黒 耀

講談社


東京
東京湾
渋沢断層
神縄衝上断層(a)
塩沢断層
神縄
富士山
神縄・国府津・松田断層帯
御殿場谷跡
大沢崩れ
御殿場
箱根山
神縄衝上断層(b)
小田原
相模灘
富士川河口断層帯
伊豆半島
駿河湾
フィリピン海プレート
伊豆大島
0
30km
山梨県
河口湖
精進湖
西湖
本栖湖
都留市
中央自動車道
第2次ゾーン
東富士五湖道路
神奈川県
丹沢山地
山中湖
秦野市
富士吉田市
富士山
▲3776
第1次ゾーン
小山町
東富士演習場
富士山ランド予定地
御殿場市
足柄山地
表富士周遊道路
御殿場中央高校
富士宮市
富士サファリパーク
富智神社
小田原市
箱根山
▲神山
富知神社
富士浅間大社
東駿河大学
1187▲
愛鷹山
裾野
裾野市
富士市
東名高速道路
沼津
三島市
静岡市
東海道新幹線
東海道本線
沼津市
熱海
静岡県
0
10km

〈富士山周辺図〉

主は彼らの前に行かれ、昼は雲の柱をもって彼らを導き、
夜は火の柱をもって彼らを照し、昼も夜も彼らを進み行かせられた。

（旧約聖書　出エジプト記　13・21）

目次

第一章　覚醒　11
第二章　徐福伝説　37
第三章　カムイ・フチ　66
第四章　富士神の地　81
第五章　接近遭遇　118
第六章　神の名の下の不平等　151
第七章　暗転　227

第八章　神の御許へ　263
第九章　瑞光　276
第十章　噴火神降臨　305
第十一章　夜は火の柱　358
第十二章　首都震撼　403
第十三章　二霊神復活　449
第十四章　昼は雲の柱　505
エピローグ　589
解説／小山真人（静岡大学防災総合センター教授）　594
著者あとがき　604

主な登場人物

山野承一郎——富士山研究家、東駿河大学理学部地球惑星科学科教授

山野真紀——山野教授の一人娘、高校生

山野綾子——山野教授の妻

山野信明（のぶあき）——山野教授の父、冨智神社神主

富成建男（とみなりたけお）——富成興産社長

富成亮輔（りょうすけ）——富成社長の一人息子、山野真紀の同級生

天沢香織（あまさわ）——富成社長の前妻、亮輔の母

小山田重雄——富成興産の社員、歴史好き

高峰千尋（ちひろ）——御殿場市立図書館司書

蟻賀昌也（ありがまさや）——週刊パトス記者

堀小路繁春（しげはる）——帝都大学名誉教授、族委員

伊藤靖友（やすとも）——山野研究室の大学院生

勝俣昭彦（あきひこ）——御殿場市防災担当者

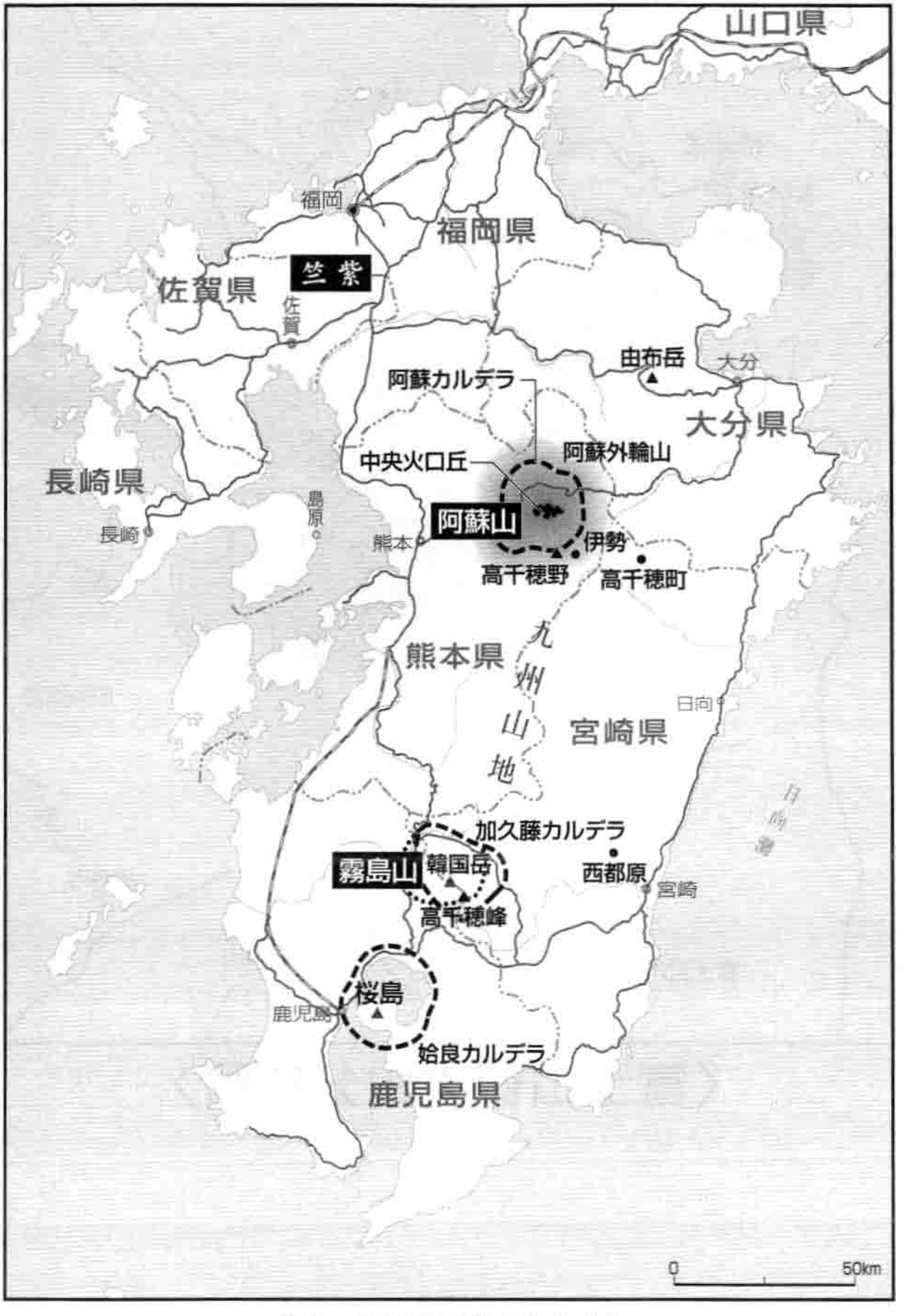
上野誠——気象庁地震火山部管理課長

吉村源一郎——東駿河大学理学部生物資源科助手、富士山開発反対論者

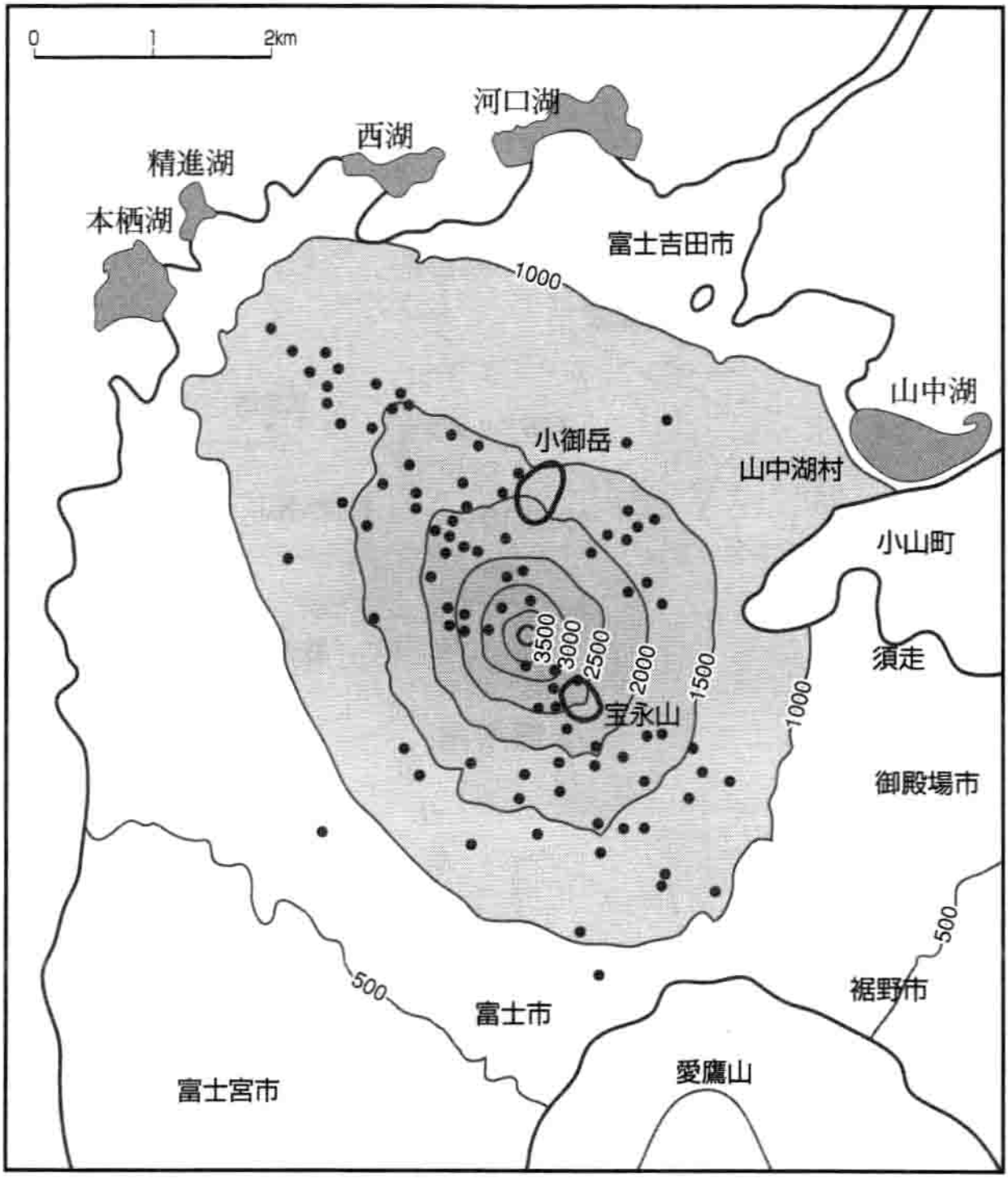
渡辺優子——山野真紀の級友

長田一平（おさだ）——富成亮輔の級友

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com


山口県
福岡
福岡県
竺紫
佐賀県
佐賀
由布岳
大分
阿蘇カルデラ
大分県
中央火口丘
阿蘇外輪山
長崎県
島原
長崎
熊本
阿蘇山
伊勢
高千穂野
高千穂町
熊本県
九州山地
日向
宮崎県
加久藤カルデラ
霧島山
韓国岳
西都原
宮崎
高千穂峰
桜島
鹿児島
姶良カルデラ
鹿児島県
0
50km

〈九州関連地図〉


0
1
2km
河口湖
西湖
精進湖
本栖湖
富士吉田市
1000
山中湖
小御岳
山中湖村
小山町
3500
3000
2500
2000
1500
1000
須走
宝永山
御殿場市
500
500
裾野市
富士市
愛鷹山
富士宮市

〈富士山側火山分布図〉

富士覚醒

石黒耀

MAP

データ・アトラス

第一章　覚醒

富士が揺れていた。

ドゥ、ドゥ、と山体深部が心臓のように規則正しく拍動している。

周期が一秒前後と長いので、「低周波地震」と専門家は呼ぶが、人体に感じるほどの地震ではない。そのため、地元住民の関心は高くないが、これほどの規模で頻発するのは二〇〇一年以来だった。

拍動はしばらく続いて止まるが、数時間経つと再び始まる。まるで、冬眠から覚めかけの獣のようであった。

静岡県、御殿場市。

富士東麓に広がる人口八万人の高原都市である。

西に富士山、南に愛鷹火山、東に箱根火山がそびえ……、と書くと、知らない人は息が詰まるような狭隘地を想像されるかもしれないが、逆に大変広々としている。雄

大な富士山の裾野上にあるからだ。高台に立つと、二〇キロ先の富士山頂まで遮る物なく見渡すことができて、誠に爽快である。

御殿場から見る富士山は、どの季節の、どの時間も美しい。

青空に白く輝く冬の朝。月光に浮かぶ夏の夜。

いずれも秀麗だが、春と秋の日没時も捨てがたい。富士山に向かってまっすぐ陽が落ち、茜色の夕焼け空が背景となって美しさが際立つ。それは、生まれた時から富士山を見て育った御殿場市民でも、思わず息を呑む荘厳さだった。

さて、今は昼なので夕景の美しさはないが、西を見てみると、富士山麓の傾斜が次第に急になり、山腹へと移行する森の中に、小さく地肌をさらした場所があることに気付く。小さいとは言っても、一〇キロ離れているからそう見えるだけで、実際には五三〇万平方メートルもあった。地元企業の富成興産が造成中の富士山ランド予定地である。

近寄ってみると、フェンスで囲まれた敷地は火山性土壌が剝き出しで、上をブルドーザーやダンプが走り回っている。時に、サイレンと発破の音が響いた。

工事現場入り口ゲートの向かいには、「乱開発反対」とか「富士の自然を守れ」と書かれたノボリや看板が並び、その間に建つ小さな監視小屋からは、数人の男女が交

试读结束：需要全本请在线购买： www.ertongbook.com